

1. 科目名 (単位数)	権利擁護と成年後見 (2 単位)	3. 科目番号	SSMP3101 SCMP3101
2. 授業担当教員	近藤 重晴		
4. 授業形態	講義・討議	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	1. 権利擁護の基本的な考え方・成年後見制度の概要・成年後見人の活動の実際について、実務の動向も含めて学ぶとともに、成年後見制度と関わりのある諸制度や専門職の役割について学ぶ。 2. 権利擁護・成年後見制度の理解の前提となる憲法と民法の基本的な考え方を学ぶ。		
8. 学習目標	1. 権利擁護相談援助と日本国憲法、民法、行政法とのかかわりを理解、習得し、説明できる。 2. 成年後見制度の概要及び成年後見人等の役割、実務について理解、習得し、説明できる。 3. 日常生活自立支援事業の概要と成年後見制度との連携について理解し、説明できる。 4. 成年後見活動の実際及び権利擁護活動の実際について考察し、理解する。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	小テスト・レポートを実施する。 レポート課題は授業内にて提示する。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 社会福祉士養成講座編集委員会編 『新・社会福祉士養成講座 第19巻 権利擁護と成年後見制度』中央法規。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 授業を通じて、権利擁護の基本的な考え方、成年後見制度の概要、成年後見人の活動等を理解し、説明できるようになっているか。 2. レポート課題を通じて、授業で学んだ知識を活用して、説明できるようになっているか。 3. 期末試験を通じて、専門用語等を理解し、説明できるようになっているか。 ○評定の方法 1. 授業への積極的参加 総合点の40% 2. レポート 総合点の30% 3. 期末試験 総合点の30%		
12. 受講生への メッセージ	日常的に何らかの援助を必要とする人々に接することが多い専門職として鋭い人権感覚を身につけておくことが重要である。また、成年後見制度利用の需要が増加しており、援助の専門家として法制度と実際の知識が必要である。 毎回の授業時、基本用語等について質問をするので、事前・事後の学習を必ず行っておくこと。 履修にあたっては、次のことを最低限守ってほしい。 1. 指定の教科書は、授業の際必ず持参してくること。 2. 別途配布する資料は、正しく整理して必ず保管しておくこと。 3. 授業中の私語や携帯電話は禁止する。		
13. オフィスアワー	授業時間の前後		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (講義概要、権利擁護と成年後見制度の学び方)	事前学習	人権について考えておく。
		事後学習	権利擁護について考えをまとめる。
第2回	相談援助活動において想定される法律問題 日本国憲法の基本原理の理解	事前学習	テキスト (pp.2~27) を読んで、要点を整理しておく。(第1章第1・2節)
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。特に社会福祉基礎構造改革とのかかわりを把握しておく。
第3回	行政法の理解 (行政事件訴訟、国家賠償法等)	事前学習	テキスト (pp.28~47) を読んで、要点を整理しておく。(第1章第3節)
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。行政事件訴訟の類型についてまとめておく。
第4回	民法の理解 (物件と債権、不法行為等)	事前学習	テキスト (pp.48~66) を読んで、要点を整理しておく。(第1章第4節1~6)
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。特に不法行為責任の種別を理解整理しておくこと。
第5回	民法の理解 (親族法、相続法)	事前学習	テキスト (pp.67~79) を読んで、要点を整理しておく。(第1章第4節7・8)
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。
第6回	成年後見の概要、保佐、補助の概要	事前学習	テキスト (pp.82~97) を読んで、要点を整理しておく。(第2章第1節~第3節)
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。後見、保佐、補助の違いを理解し整理しておく。

第7回	成年後見の申立の流れ 任意後見制度、成年後見人等の義務	事前学習	テキスト（pp.98～117）を読んで、要点を整理しておく。（第2章第4節～第6節）
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。善管注意義務などの後見人、保佐人、補助人の義務と責任について整理しておく。
第8回	成年後見制度の最近の動向と課題	事前学習	テキスト（pp.118～127）を読んで、要点を整理しておく。（第2章第7節）
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。
第9回	日常生活自立支援事業の概要	事前学習	テキスト（pp.130～138）を読んで、要点を整理しておく。（第3章）
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。成年後見制度との相違について整理しておく。
第10回	成年後見制度利用支援事業の概要	事前学習	テキスト（pp.140～145）を読んで、要点を整理しておく。（第4章）
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。
第11回	権利擁護にかかわる組織、団体の役割 （家庭裁判所、法務局、市町村等の役割）	事前学習	テキスト（pp.148～171）を読んで、要点を整理しておく。（第5章）
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。各組織、団体の役割について整理しておく。
第12回	権利擁護にかかわる専門職の役割 （弁護士、司法書士等の役割、社会福祉士の活動の実際）	事前学習	テキスト（pp.174～195）を読んで、要点を整理しておく。（第6章）
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。権利擁護の視点から見える各専門職の役割について整理しておく。
第13回	成年後見活動の実際 （認知症を有する者への支援の実際、消費者被害を受けた者への対応の実際等）	事前学習	テキスト（pp.198～214）を読んで、要点を整理しておく。（第7章）
		事後学習	感想文提出。
第14回	権利擁護活動の実際 （被虐待児への対応の実際、高齢者虐待への対応の実際、アルコール依存症への対応の実際）	事前学習	テキスト（pp.216～229）を読んで、要点を整理しておく。（第8章第1節～第3節）
		事後学習	感想文提出。
第15回	権利擁護活動の実際 （非行少年への対応の実際、ホームレスへの対応の実際、多重問題重複ケースの実際）	事前学習	テキスト（pp.230～243）を読んで、要点を整理しておく。（第8章第4節～第6節）
		事後学習	感想文提出。 これまでの学習を振り返り、レジュメ等を整理し、今後の学習につなげる。